

児童手当・特例給付・次世代育成手当 受給事由消滅届

※受付年月日

記入例

児童手当の受給者
(父又は母)のことを
記入してください。

提出年月日

令和4年 〇〇月 〇〇日

ちよだ たろう

生年月日

昭和60年 1月 1日

氏名

千代田 太郎

住所

千代田区九段南1-2-1

電話 03(1234)5678

消滅した
受給事由

該当する
ものを○
で囲んで
ください

- 1 受給者が日本国内に住所を有しなくなった
- 2 受給者が他の市町村（特別区を含む）に転出した
- 3 受給者が児童と別居することとなった（単身赴任の場合を除く）
- 4 未成年後見人でなくなった
- 5 父母指定者でなくなった（児童の生計を維持する父母等の帰国
- 6 公務員になった
- 7 児童の生計を維持する程度の高い者でなくなった
- 8 児童について、次の事実が生じた
 - ① 15歳に達した日の属する年度が終了した
 - ② 18歳に達した日の属する年度が終了した
 - ③ 死亡した
 - ④ 監護しなくなった
 - ⑤ 生計を同じくしなくなった
 - ⑥ 生計を維持しなくなった
 - ⑦ 日本国内に住所を有しなくなった（留学を理由とするものを除く）
 - ⑧ 里親等への委託又は児童福祉施設等への入所若しくは入院
 - ⑨ その他（ ）
- 9 その他（ ）

該当する消滅事由を
○で囲んでください。

8の場合における児童の氏名

消滅事由の発生した年月日

令和4年 4月 1日

備考

消滅事由の発生した年月日を記入
してください。
公務員就職の場合→公務員の身分
を取得した日

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。